

農業委員会委員 公募状況（最終報告）

50音順

	氏名	年齢	性別	経歴	認定農業者等の該当	申込方法
1	尾崎 勝典	75	男	H27.5～農業委員会委員	無	応募
2	河上 政義	67	男	H30.3～農事組合法人立河内絆 役員	有	個人推薦
3	河野 雅俊	42	男	H27.5～農業委員会委員 H30.5～農地利用最適化推進委員	有	応募
4	河野 達	70	男	R2.7～六日市わさび生産者組合 副組合長 R3.5～農業委員会委員	無	応募
5	齋藤 学	67	男	H29.4～ 合同会社盛岳ファーム代表 H30.5～農業委員会委員	有	応募
6	田村 薫平	41	男	R3.5～農業委員会委員	無	応募
7	橋本 修治	63	男	H21.5～H30.5 農業委員会委員 H28.8～西いわみ和牛改良組合 吉賀支部長	有	個人推薦
8	藤井 和子	71	女	H30.5～農業委員会委員	無	応募
9	見川 恒栄	65	男	H24.5～H30.5 農業委員会委員 H30.5～ 農地利用最適化推進委員	有	応募
10	森下 保	68	男	R3.5～農業委員会委員	有	応募
11	山根 里馬	66	男	農業関係の役職記載なし	無	個人推薦
12	米田 浩司	61	男	R3.3～ 農事組合法人ごんごんじいの 郷 役員	有	応募

※年齢は令和6年3月4日時点

農業委員会委員の推薦と応募の理由

(1) 個人による推薦

被推薦者 (推薦を受ける者)	推薦者（推薦をする者）の代表者	
氏名	氏名	推薦理由
河上 政義	正木 潤一	農業に対して深い見識があり、農地等の最適化や相談や助言等に対しても適切に行うことができる方である。
橋本 修治	三井 利民	平成21年から3期、農業委員会委員を務められ十分実績もあり、年齢も若く、梶谷・福川地区をまとめていく力もあると考える。
山根 里馬	山吹 寛	中山間地域直接支払の地区の役員を長年務められている。農業では自然環境を考え、合鴨農法や無農薬栽培を実践されている。ボランティア精神が強く、地区民の力になっており、創意工夫や考え方が前向きで実行力があり、温厚な人柄である。

(2) 応募者

応募者 氏名	応募の理由
尾崎 勝典	地域の農業に少しでも貢献したい為、応募した。
河野 雅俊	平成27年から農業委員と推進委員を務めたため、引き続き地域のための活動を行い、農地と地域を次世代へ継承していきたい。
河野 達	中山間地の5年、10年先の農業情勢は深刻である。特に山間部の耕作条件不利地域では農地の集積、法人化が経営的に成り立たず益々耕作放棄地が増加すると考えられる。その状況を少しでも緩和するには、畑地化による価格の安定した特産物の栽培が必要と考える。 この地方でのわさび生産は、100年の長い歴史があり山間部での経済を支えてきた歴史ある特産物である。今この産地が消滅の危機を迎えているといっても過言ではなく、産地の消滅は集落の消滅にもつながりかねない。この状況を自らの実践と農業委員を通して訴えていきたいと考え、応募した。
齋藤 学	農地利用の有効的活用及び農業者のパイプ役として活動したい。
田村 薫平	前期に引き続き吉賀町内の農地を守り、未来へつなげていく事は、とても重要な役割と感じているので、応募した。
藤井 和子	高齢化で耕作をやめる方が増えており、農地を維持するために有機農業をする若者を増やしたり、家庭菜園で野菜を作る人が増えるようにしたいと思う。 学校給食で地元野菜の使用が増えるように考えていきたい。 吉賀町の遊休農地がなくなるよう景観を考えた活動をしていきたい。
見川 恒栄	抜月の河内地区内の圃場整備の役員のため、農業委員に応募した。
森下 保	1期3年間で町の農業（農地）の状況が非常に悪いと感じた。現在、地域計画を策定しているが、本当に10年後の町の農業（農地）が継続されるのかという思いもあり、もう1期、委員として町の方針に対する提言等を行い、議員や執行部との意見交換の場を持つよう要望、実践していきたい。
米田 浩司	現職の農地利用最適化推進委員に勧められたため。